

推進主体	中等科・高等科
責任者	中・高等科長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
教	—	B	中高図書室の整備と機能向上	令和 6 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容

文科省による「第6次 学校図書館図書整備等5か年計画」(令和4年)、および「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(令和5年)に提示されている通り、GIGAスクール構想によるICT環境の整備等をうけて、生徒の創造的かつ深い学びの実現に向け、学校図書館の一層の活性化と機能向上が求められている。具体的には、感染症発生による学校の休業等においても図書へのアクセスを可能とするため、あるいは生徒の家庭学習促進のためにも、学校図書館のデジタルトランスフォーメーションは極めて重要な課題となっている。また、蔵書管理のため電子システムを適切に運用していくことは、学校の貴重な財産を守るという観点からも意義あるものと考えられることから、以下の実現を図る。

- オンライン学習や家庭学習の際に使用可能なデータベース環境を整備する。さらに学内だけでなく、学外からもデータベースにアクセスすることを可能にするシステムを構築する。
- 現在使用している入口ゲートは導入から12年以上が経過し、令和6年以降は部品の交換もできなくなることから、システムの入替えを進める。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

既存のデータベースの評価および新たに整備すべきデータベースを精査し導入する。
 図書館入口にゲートを新規に設置する。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定				→ 入口ゲートの設置			
						→ 既存データベースの評価および新規データベースの検討と導入	

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1							
直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	
目標							
実績							
2							
直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
(2022年度) 令和4年度		
(2023年度) 令和5年度		
(2024年度) 令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> 既存のデータベースの評価 新規データベースの検討と導入 図書館入口ゲートの設置 	<p>現在、導入しているオンラインデータベースは、生徒・教員のあいだでの利用が定着しておらずアクセス数が少ないデータベースがある一方で、「朝日けんさくくん」などは授業の課題レポートを作成する際に活用され、効果的に利用されている。また、令和6年度には、新規のデータベースとして「ヨミダススクール」を導入し、学外OPACからの利用を開始した。今後、令和7年度から高等科でもスタートする一人一台端末を利用した授業と連携するなど、いっそうオンラインデータベースの利用を促進する必要がある。</p> <p>令和6年12月にBDS(図書持出禁止装置)と呼ばれる入口ゲートの入れ替え作業が完了した。</p>
(2025年度) 令和7年度	<p>令和4年度から漸次導入を進めているオンラインデータベース(朝日けんさくくん・朝日クロスサーチ・ヨミダススクール・ジャパンナレッジ・日経オンライン・ブリタニカ・ナクソス)の利用状況を調査し、データベース環境を整備するとともに、新規データベースの導入を検討する。</p> <p>令和6年度中期計画において入れ替えが完了したBDS(図書持出禁止装置)と呼ばれる入口ゲートを今後も長く使用していくために継続的な保守・点検を行い、図書室の管理システムの向上を図る。</p>	<p>令和6年3月から令和7年11月(ヨミダススクールは令和6年6月から令和7年11月、日経テレコンは令和6年4月から令和7年3月)までの各オンラインデータベースの月平均アクセス数は、朝日けんさくくん103、朝日クロスサーチ7、ヨミダススクール13、ジャパンナレッジ47、ブリタニカ25、ナクソス6であった。</p> <p>また令和7年度からスタートした高等科の一人一台端末の導入により、アクセス数が顕著に増えたということはなく、全体としては令和6年度より微減であった。</p> <p>今後の課題としては、一人一台端末をいかした授業と連携し、生徒・教員の利用をいっそう促進する必要がある。</p>
(2026年度) 令和8年度	<p>引き続きオンラインデータベース(朝日けんさくくん・朝日クロスサーチ・ヨミダススクール・ジャパンナレッジ・日経オンライン・ブリタニカ・ナクソス)の利用状況を調査し、データベース環境を整備するとともに、中期計画終了後を見据えてオンラインデータベースの選定をすすめる。</p>	